

取材日：2020年2月7日

お客様だけじゃなく自分も楽しむ



『よし正について』

よし正について教えてください。

元々両親が食堂を始めました。小さい頃は継ぐ気はなかったけど、高校の時に進路を聞かれた際に「親の後を継ぎます」と話したのがきっかけとなり仕事を継ぐことを決めました。その後、専門学校に1年間通い、大阪で10年

朝早くから夜遅くまで厳しい修行を行い戻ってきました。今では民宿業や遊漁船を出すなども行っています。正社員は4人(男性2人・女性2人)、それに家内とパート、アルバイト達で運営しています。

『社長の仕事について』

社長の仕事内容は？

全体の動きを見ることが仕事です。民宿業の他、津波(つば)島内でコミュニティアイランドという町の施設の指定管理をしている他、船を持っている仲間と一緒に遊漁船を出しています。島に来て泊

まった時に、ただ泊まるのではなく、「釣りがしたい、海で泳ぎたい、キャンプしたい」等のニーズがあった時に、総合的に旅行をプロデュースできるように全体を把握し、指示出すのが私の仕事です。民宿業だけでなく遊漁船

をやるキッカケになったのは、ある時お客さんから、「大将釣りはしないの？船あるし釣りに行ったら釣る船もやってみたら？」と言われたからです。そして、今も親交のある友人と一緒に遊漁船を始めました。



『お客様を満足させるために』

働く上で大切にしている事は何ですか？

1番大切にしているのは、「仲間」です。スタッフは社長の下とかではなくビジネスパートナーだと思っています。そのため厳しく働かせるのではなく、スタッフの方たちが働きやすい環境

を作ることが社長の仕事だと思っています。働く上で大切にしているのは「お客様を楽しませる以上に自分達も楽しむ！」ことです。自分たちが楽しみ、自分たちが美味しいと思わなければ、お客さんが喜んでくれたり、美味しい

と思ってくれて、満足させることが出来ないと考えているからです。



『上島町への思い』

上島町に対する思いを教えてください。

2年後に橋が繋がって新しいことが生まれる期待感があります。上島町には既にたくさん良い所があるので、人が来るようになればもっと多くの人に認めてもらえらると思います。僕は商売人なので、島が繁ることでビジネスとし

ても活気が出て皆が儲かること、因島土生地築くことも大事だとも思っています。

かる、そんな風に商売を通じて町が盛り上がればと思っています。

これからの展望は？

経営者としては「従業員を食わせていかない」という思いが強いし、商売が上手いくためのアイデアを考えていて、そのために色々な情報アンテナを張っています。現在、因島土生地築くことも大事だとも思っています。



やはり島なので、魚は自信を持って美味しいといえます。あとは、岩城にはレモンポーク豚を養殖しています。幸いなことに美味しい食材にクオリティの高い料理を提供することに関して言えば、そんなに苦労はしていません。季節ごとにとれる海の幸や柑橘であったり、岩城島はおいしい食材にとっても恵まれていますからね。

おすすめ料理